

令和7年度

水道事業会計当初予算説明資料

1. 予算の概要

(1) 収益的収支（税込）

はじめに、収益的収益（水道事業収益）の、主な内訳について説明します。収益の柱である水道料金（給水収益）は、調定見込水量の減少が見込まれることから、前年度比 26,887 千円減の 447,209 千円、また給水装置工事や水道使用に伴う開閉栓に係る手数料など（その他営業収益）についても新規の水道使用者の減少が見込まれるため、前年度比 60 千円減の 1,177 千円とし、営業収益としては令和 6 年度当初予算と比較して 26,947 千円減の 448,387 千円を計上します。

営業外収益については、前述した新規の水道使用者が減少することに加えて、「酒々井の水」の売上も減少が見込まれることから、前年度比 2,050 千円減の 65,135 千円を計上しています。

以上、水道事業収益全体としては、前年度比 28,997 千円減の 513,522 千円を計上します。

【収入比較表】

（税込・千円）

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
水道事業収益	542,519	513,522	▲28,997	▲5.3
営業収益	475,334	448,387	▲26,947	▲5.7
給水収益	474,096	447,209	▲26,887	▲5.7
その他営業収益	1,237	1,177	▲60	▲4.9
他会計負担金	1	1	0	0
営業外収益	67,185	65,135	▲2,050	▲3.1
加入負担金	22,493	20,199	▲2,294	▲10.2
受取利息	301	172	▲129	▲42.9
長期前受金戻入	42,134	43,567	1,433	3.4
雑収益	2,257	1,197	▲1,060	▲47.0

次に収益的支出（水道事業費用）について、営業費用は前年度と比較して 6,335 千円増の 487,630 千円を予定しています。増額の主な要因としては、検定期間満了に伴う量水器交換個数の増加及び尾上浄水場配水ポンプ盤点検整備箇所数の増加により配水及び給水費が 15,518 千円増加して 56,105 千円となったこと等が挙げられます。なお、尾上浄水場に係る委託料や修繕料などの原水及び浄水費は 13,766 千円減となっています。

営業外費用については、設備の整備により新たに企業債の借入を行ったことに伴い償還利息が増加したことから、前年度と比較して 2,484 千円増の 25,488 千円を計上しています。

以上、水道事業費用全体としては、前年度比 8,819 千円増の 518,118 千円を計上します。

【支出比較表】

(税込・千円)

項目	令和6年度	令和7年度	増 減	増減率(%)
水道事業費用	509,299	518,118	8,819	1.7
営業費用	481,295	487,630	6,335	1.3
原水及び浄水費	118,260	104,494	▲13,766	▲11.6
配水及び給水費	40,587	56,105	15,518	38.2
総係費	135,765	138,859	3,094	2.3
減価償却費	184,679	187,949	3,270	1.8
資産減耗費	2,004	223	▲1,781	▲88.9
営業外費用	23,004	25,488	2,484	10.8
支払利息	2,673	6,388	3,715	139.0
支払消費税	20,331	19,100	▲1,231	▲6.1
予備費	5,000	5,000	0	0

以上の収支の見込から、令和7年度の損益(税抜)は162千円の純利益を見込んでいますが、今後は、収入の減少傾向が続くことが想定されることから厳しい経営状況となることが見込まれています。

【損益比較表】

(税抜・千円)

項目	令和6年度	令和7年度	増 減	増減率(%)
営業収益	432,234	407,732	▲24,502	▲5.7
営業外収益	64,955	63,209	▲2,086	▲2.7
収益合計	497,189	470,941	▲26,248	▲5.3
営業費用	460,849	464,391	3,542	0.8
営業外費用	2,673	6,388	3,715	239.0
費用合計	463,522	470,779	7,257	1.6
純利益/純損失(収支差引)	33,667	162	▲33,505	▲99.5

(2) 資本的収支（税込）

はじめに、資本的収入について、企業債は充当を予定している事業の予定に伴い前年度と比較して 46,100 千円減の 183,800 千円を予定しています。分担金及び負担金については、新規の水道使用者の減、東酒々井 5 丁目地先舗装本復旧工事に伴う負担金の減などの理由により前年度比 26,454 千円減の 16,161 千円を見込んでいます。他会計返還金は令和 2 年度に下水道事業へ貸し付けた 26,000 千円を計上しています。

以上から資本的収入全体としては、前年度比 46,554 千円減の 225,961 千円を計上します。

【収入比較表】

(税込・千円)

項目	令和 6 年度	令和 7 年度	増 減	増減率 (%)
資本的収入	272,515	225,961	▲46,554	▲17.1
企業債	229,900	183,800	▲46,100	▲20.1
分担金及び負担金	42,615	16,161	▲26,454	▲62.1
分担金	7,629	6,657	▲972	▲12.7
工事負担金	34,986	9,504	▲25,482	▲72.8
他会計返還金	0	26,000	26,000	—

次に資本的支出について、建設改良費は前年度比 141,224 千円減の 241,947 千円を見込んでいます。内訳としましては、固定資産購入費が量水器の購入個数の減に伴い前年度比 3,550 千円減の 11,136 千円、拡張工事費は、設計業務委託などの委託料の減、配水管布設替工事、尾上浄水場発電設備、次亜塩素酸注入施設整備の更新などに伴う工事請負費の減により、前年度比 137,674 千円減の 230,811 千円となっています。

企業債償還金については、建設改良費に充当するために借入れた企業債の償還金が増加したことから前年度比 5,380 千円増の 22,084 千円を見込んでいます。

以上から資本的支出全体としては、前年度比 135,844 千円減の 269,031 千円を見込んでいます。

【支出比較表】

(税込・千円)

項目	令和6年度	令和7年度	増 減	増減率(%)
資本的支出	404,875	269,031	▲135,844	▲33.6
建設改良費	383,171	241,947	▲141,224	▲36.9
固定資産購入費	14,686	11,136	▲3,550	▲24.2
拡張工事費	368,485	230,811	▲137,674	▲37.4
企業債償還金	16,704	22,084	5,380	32.2
予備費	5,000	5,000	0	0.0

以上から資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は43,070千円の見込みとなり、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,469千円及び過年度分損益勘定留保資金41,601千円で補てんします。

当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額：

消費税及び地方消費税には、収入の際に消費税として受け取る「仮受消費税」と、支出の際に消費税として支払う「仮払消費税」があります。町が最終的に国へ申告・納付する税額は、この「仮受消費税」から「仮払消費税」を差し引いたものになります。もし、「仮払消費税」が「仮受消費税」よりも大きかった場合、その分は還付を受けることになります。

資本的収支では、支出として仮払消費税を支払っている一方、収入ではその性質上仮受消費税を受け取る額がほとんどありません。そのため、その還付額に相当する額を補てん財源として充当します。

過年度分損益勘定留保資金：

収益的収支の中には、実際には現金を支出しない費用（減価償却費）と、実際には現金が収入されない収益（長期前受金戻入）があります。この差額を損益勘定留保資金と呼び、その分は現金として手元にあることから、これを補てん財源として充当します。

2. 予定キャッシュ・フロー計算書

令和7年度当初予算に係る予定キャッシュ・フローについて、まず業務活動によるキャッシュ・フロー（収益的収支のキャッシュ・フロー）は229,749千円の黒字を見込んでいます。次に投資活動によるキャッシュ・フロー（資本的収支のうち企業債の収支（借入・償還）に係るものを除いたもの）は319,225千円の赤字を見込んでいます。最後に財務活動によるキャッシュ・フロー（企業債の収支に係るもの）は205,884千円の黒字を見込んでいます。

以上、合計すると令和7年度当初予算全体のキャッシュ・フローは116,408千円の黒字（現金増）見込となっています。

この結果、令和7年度末における水道事業会計の資金残高は859,218千円を見込んでいます。

【令和7年度予定キャッシュ・フロー】

（千円）

・業務活動によるキャッシュ・フロー	229,749
・投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 319,225
・財務活動によるキャッシュ・フロー	205,884
令和7年度資金増減額	116,408
資金期首残高	742,810
資金期末残高	859,218

3. 予定貸借対照表

令和7年度末の総資産額は、5,668,296,135 円の予定で、令和6年度末と比較して129,481,526 円増加する見込みです。このうち固定資産は12,328,881 円の増加見込みで、これは既存の資産が経年によって減少する減価償却費187,949,000 円よりも、新規に整備する予定額241,947,000 円の方が大きいことによるものです。また現金預金等を含む流動資産についても現金預金の増加見込などから、117,152,645 円の増加見込となっています。

次に負債の額については、資産の取得のために借入れた企業債の残高が増加したことから固定負債が348,190,101 円の増加見込となります。また流動負債及び繰延収益は減少する見込みとなっていることから、負債総額は前年度比133,859,446 円増の2,009,570,089 円となります。

最後に資本の額については、未処分利益剰余金（累積黒字）が減少したため、前年度比4,377,920 円減の3,658,726,046 円となっています。

【令和7年度予定貸借対照表】

(円)

資産の部		負債の部	
固定資産	4,717,665,332	固定負債	1,195,002,407
有形	4,715,629,221	企業債	1,195,002,407
無形	1,709,050	流動負債	60,410,006
投資その他	327,061	企業債	43,526,094
		未払金	13,334,764
		引当金	3,549,148
		繰延収益	754,157,676
		負債合計	2,009,570,089
流動資産	950,630,803	資本の部	
現金預金	859,218,318	資本金	2,290,334,045
未収金	89,532,290	自己資本	2,290,334,045
貯蔵品	1,543,935	剰余金	1,368,392,001
		資本剰余	32,178,161
		利益剰余	1,336,213,840
		資本合計	3,658,726,046
資産総計	5,668,296,135	負債・資本総計	5,668,296,135

【貸借対照表比較表】

資産

(円)

項目	令和6年度	令和7年度	増 減
固定資産	4,705,336,451	4,717,665,332	12,328,881
有形固定資産	4,677,268,933	4,715,629,221	38,360,288
無形固定資産	1,709,050	1,709,050	0
投資その他の資産	26,358,468	327,061	▲ 26,031,407
流動資産	833,478,158	950,630,803	117,152,645
現金預金	742,810,216	859,218,318	116,408,102
未収金	89,124,007	89,532,290	408,283
貯蔵品	1,543,935	1,880,195	336,260
資産合計	5,538,814,609	5,668,296,135	129,481,526

負債・資本

項目	令和6年度	令和7年度	増 減
固定負債	846,812,306	1,195,002,407	348,190,101
企業債	846,812,306	1,195,002,407	348,190,101
流動負債	245,863,718	60,410,006	▲185,453,712
企業債	229,999,262	43,526,094	▲186,473,168
未払金	12,884,681	13,334,764	450,083
引当金	2,979,775	3,549,148	569,373
繰延収益	783,034,619	754,157,676	▲ 28,876,943
負債合計	1,875,710,643	2,009,570,089	133,859,446
資本金	2,290,334,045	2,290,334,045	0
自己資本金	2,290,334,045	2,290,334,045	0
剰余金	1,372,769,921	1,368,392,001	▲ 4,377,920
資本剰余金	32,178,161	32,178,161	0
利益剰余金	1,340,591,760	1,336,213,840	▲ 4,377,920
資本合計	3,663,103,966	3,658,726,046	▲ 27,406,000
負債・資本合計	5,538,814,609	5,668,296,135	129,481,526

主 要 事 業

1. 資本的支出

①東酒々井5丁目地先舗装本復旧工事

事業概要：

令和6年度東酒々井地先配水管布設替工事（11工区）に伴う舗装本復旧工事を実施する。

事業費：31,681千円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

②2、5、9、10号取水井非常用発電設備整備工事

事業概要：

町内に設置されている各取水井に、停電時にも地下水の取水を可能とするため、水源井に非常用電源設備を設置する。

事業費：132,000千円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

③京成車両基地拡大に伴う配水管布設替工事

事業概要：

京成電鉄宗吾車両基地改良に伴い、町道1B-048号線に埋設されている配水管の布設替を行う。

事業費：28,721千円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

④尾上浄水場次亜注入設備貯留槽更新工事

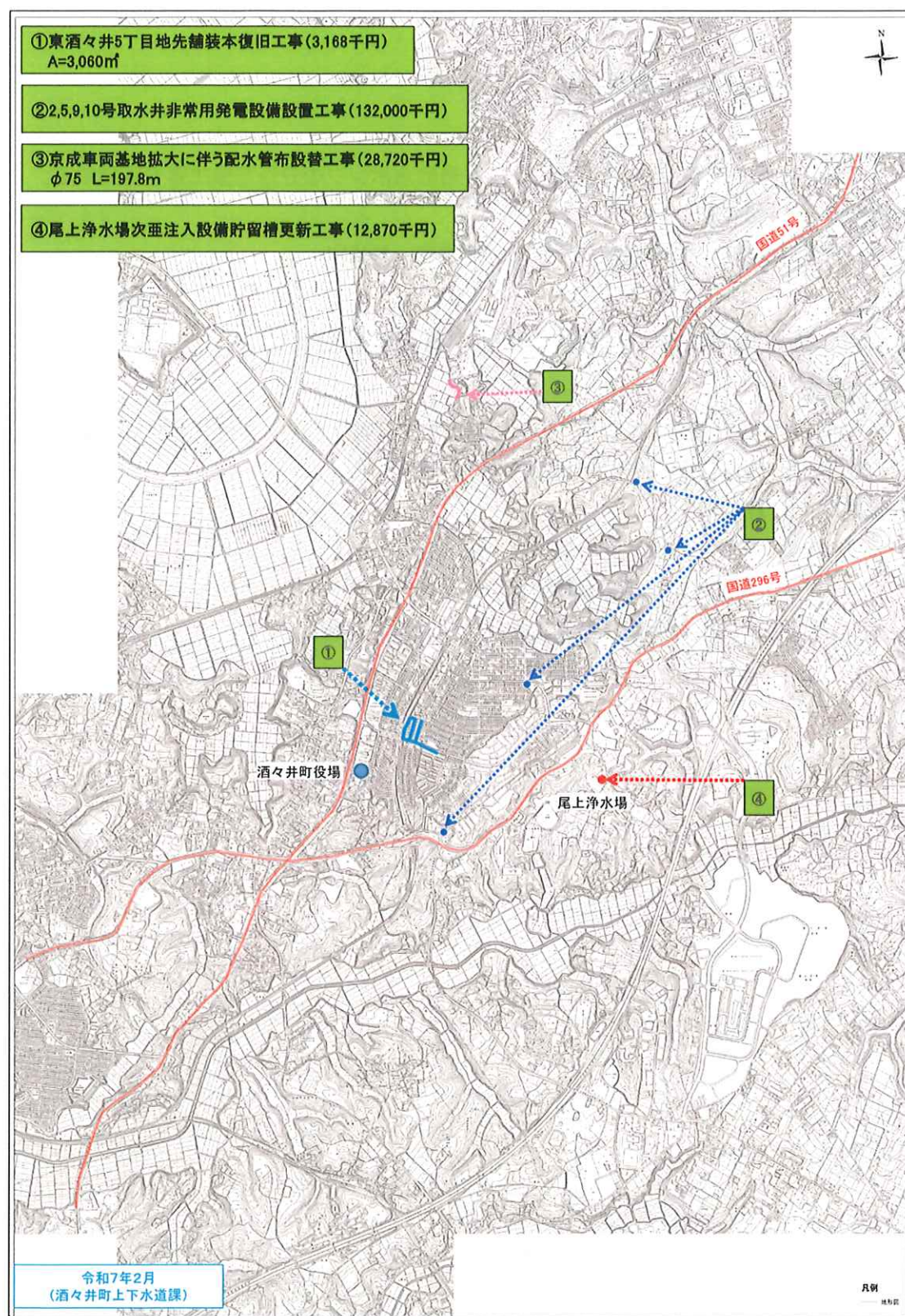
事業概要：

設置から31年経過した次亜塩素酸ナトリウム貯留槽の入れ替えを実施する。

事業費：12,870千円

資本的支出－建設改良費－拡張工事費－工事請負費

令和7年度主要事業箇所図(資本的支出)



2. 水道事業費用

⑤ 5号取水ポンプ分解整備工事

事業概要：

東酒々井3丁目 大森公園内にある5号取水ポンプの分解整備工事を実施する。

事業費：7,480 千円

水道事業費用－営業費用－原水及び浄水費－修繕料

⑥⑦ 尾上浄水場 1・2・8号配水ポンプ盤点検整備工事

事業概要：

尾上浄水場に設置している1・2号配水ポンプ盤（1系）、8号配水ポンプ盤（2系）の点検及び部品交換を行い、施設の安全稼働を図る。

事業費：24,277 千円

水道事業費用－営業費用－配水及び給水費－修繕料

1・2号配水ポンプ盤点検整備工事 16,610 千円

8号配水ポンプ盤点検整備工事 7,667 千円

令和7年度主要事業箇所図(水道事業費用)

